

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日銀金融政策決定会合)

2023/4/28

りそなホールディングス 市場企画部



### 〇概況

- ◆ 日銀は本日の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定した
- ◆ 物価見通しは生鮮食品除くベースで2024年度+2.0%、2025年度+1.6%とし、2%以下の水準とした
- ◆ 政策金利に関するフォワードガイダンスを削除し、過去25年間の金融緩和策について、1年から1年半程度の時間をかけて多角的にレビューを行うことを公表した

✓ 日銀は4月27-28日の金融政策決定会合で、現行の金融緩和策の継続を全会一致で決定した。

主な政策		声明文
長短金利操作	短期金利	日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する
	長期金利	10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う。
	長短金利操作の運用	長期金利の変動幅を「±0.5%程度」とし、10年物国債金利について0.5%の利回りでの指値オペを明らかに応札が見込まれない場合を除き、毎営業日、実施する。上記の金融市場調節方針と統合的なイールドの形成を促すため、大規模な国債買入を継続するとともに、各年限において、機動的に、買入れ額の増額や指値オペを実施する。

✓ マイナス金利政策やイールドカーブ・コントロール政策等、金融政策の基本部分については据え置きを決定した。今回の会合での政策変更を予想する声は少なかったが、一部では警戒感もあったため、政策発表後は金利低下、為替は円安で反応した。

✓ 2023年度の物価見通しを上方修正した一方、今回から公表される2025年度の物価見通しは生鮮食品除くベースで+1.6%となり、2%の物価目標を安定的に達成するような見通しとはしなかった。

(対前年度比、%) 〈〉内は中央値	実質GDP		消費者物価指数 (除く生鮮食品)	
2023年度	+1.1%	~ +1.5%	+1.7%	~ +2.0%
	〈 +1.4% 〉		〈 +1.8% 〉	
1月時点の見通し	+1.5%	~ +1.9%	+1.6%	~ +1.8%
	〈 +1.7% 〉		〈 +1.6% 〉	
2024年度	+1.0%	~ +1.3%	+1.8%	~ +2.1%
	〈 +1.2% 〉		〈 +2.0% 〉	
1月時点の見通し	+1.3%	~ +1.6%	+1.8%	~ +1.9%
	〈 +1.5% 〉		〈 +1.6% 〉	
2025年度	+1.0%	~ +1.1%	+1.6%	~ +1.9%
	〈 +1.0% 〉		〈 +1.6% 〉	

✓ 多角的なレビューの開始については事前に一部で報じられていた通り。期間が1年~1年半と長期に及ぶことから、現状では相場の材料とは捉えられにくい。日銀としては検証期間中の経済・金融環境を見極めるための時間を確保した形となる。当面は日銀の政策変更に対する市場の関心が低下し、これを材料とした国内金利の上昇圧力は徐々に低下する可能性がある。

✓ 政策金利に関するフォワードガイダンスは削除された

### ◆ その他の主な決定事項

主な政策		声明文
資産買入	ETF J-REIT	ETFおよびJ-REITについて、それぞれ年間約12兆円、年間約1,800億円に相当する残高増加ペースを上限に、必要に応じて買入れを行う
	CP 社債 ※	CP等、社債等については、感染拡大前と同程度のペースで買入れを行い、買入れ残高を感染症拡大前の水準(CP等:約2兆円、社債等:約3兆円)へと徐々に戻していく

声明文	
フォワードガイダンス	政策金利に関するフォワードガイダンスを削除

◎注意事項  
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。